

# 鳥取県鳥取市

## ④1 鳥取市立東郷地区公民館

### 施設HPアドレス

【東郷地区公民館】 <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/togo-1/>

### <ポイント>

- ・雨天時は公民館が園児の遊び場になるなど、地域住民と園児とのふれあう機会が増加するとともに、多くの人に見守られながら保育をすることができている。

### 施設概要

- 複合施設 (765.55㎡)
  - ・東郷地区公民館 (458.04㎡)
  - ・とうごう保育園 (307.51㎡)
- 複合化前の総床面積 (548.69㎡)
- 整備時期/平成 24 年
- 構造/木造・地上 1 階
- 総工費/ 2.2 億円
- 主な財源/緑の産業再生プロジェクト交付金 (国)、  
児童厚生施設等整備補助金 (県)、合併特例債 (起債)



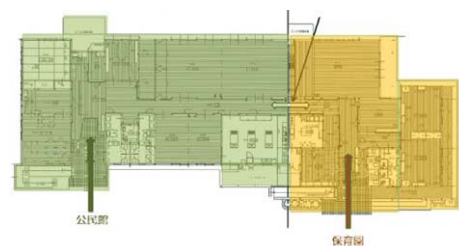
### 施設整備の背景

- ・公民館と児童館は老朽化が進み、施設の維持管理が課題となっていた。
- ・公民館は 2 階建てでありながらエレベーターもなく、階段の昇降が利用者の妨げにもなっていた。
- ・当該地域には「児童館」しかなく、地域外の「保育園」にしか預けることができない家庭もあり、当該施設の「児童館」部分を 0 歳から就学前までの児童を受け入れる「保育所」とすることで、就学前から切れ目なく地域で育む取組を進めるとともに、施設の利用状況の改善を図ることとした。

### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
公民館	8:30 ~ 22:00	市長部局	市長部局	4	4
保育園	平日 7:30 ~ 18:00 土曜 7:30 ~ 12:30	社会福祉法人 鳥取福祉会	社会福祉法人 鳥取福祉会	9	6 (児童館)

<配置図>



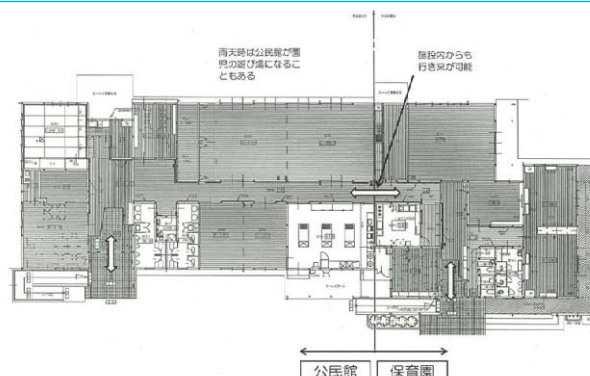
<立面図>



### 施設の配置・動線

- ・公民館と保育園はそれぞれ入口が分かれており、それぞれを繋ぐ通路には扉があるものの、行き来ができる。ただし、普段は施錠されている。

### 平面計画上的特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・ 公民館では、地域住民と園児とのふれあう機会が増え、公民館事業の幅が広がり、保育園との連携事業も可能になった。
- ・ 保育園は、公民館と一緒にあることで、公民館長や職員、地域住民と園児との距離が近く、多くの人に見守られながら保育をすることができる。
- ・ 相互の事業打ち合わせなどで連携が取りやすい。
- ・ 保育園行事等で来園者が多くなったとき、公民館の部屋を利用することができる。

### 【課題】

- ・ 施設の維持管理上の線引き  
(例) 公民館、保育園両方に関わる施設の修繕など

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用 (PFI など)
管理運営の工夫	その他

### 【コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり】

- ・ 発表会や季節のイベント等で、園児が地域住民と交流を図ることにより、普段接している家族や保育園の職員からとは違った刺激を受けることができる。
- ・ 日常的にも園児とふれあう機会が増え、地域の高齢者の生きがいや活力にも繋がっている。



新年のしめ飾り作り



餅つき大会

### 【民間の力の活用】

- ・ 保育園を民間が運営することにより、民間の持つ機動性や柔軟性を生かした持続可能かつ多様な保育サービスが提供されている。

## 地域住民・利用者等の声

- ・ 子供達とふれあう機会が多くなり、子供が話しかけてくれたり、そばに寄って来てくれることがうれしい。
- ・ 地域として求め続けてきた保育園ができたことで便利になり、知り合いが保育園や公民館に多いことから安心して子供を預けられる。
- ・ 建物がバリアフリーで平屋建てのため使いやすくなった。

# 岡山県小田郡矢掛町

## ④2 やかげ文化センター

### 施設HPアドレス

【やかげ文化センター】 <http://www.town.yakage.lg.jp/kyouiku/kyouiku.html>

【矢掛町立図書館】 <http://library.town.yakage.okayama.jp/>

### <ポイント>

・教育委員会で所管する施設であるため、教育関係の行事（学校、公民館）に幅広く多目的に利用されている。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）
  - ・やかげ文化センター 3,336㎡
  - ・矢掛町立図書館 834㎡
- 整備時期／平成 11 年
- 構造／SRC 造・3 階建
- 総工費／約 29 億円
- 主な財源 自己財源・地域総合整備事業債



ホールと図書館をメインに設計された文化センター

### 施設整備の背景

- ・古代より「ひと」「もの」「文化」の三つの交流拠点として栄えてきた矢掛に新たな文化交流施設として整備した。
- ・人々がふれあいながら「いつでも・どこでも・なんでも学べる」生涯学習の拠点となることを期待した。

### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数
文化C	9:00～19:00 (利用がある時は22:00)	教育委員会	教育委員会	1
図書館	10:00～19:00	教育委員会	教育委員会	9

### 施設の配置・動線

・図書館と文化センターの開館時間がほぼ同じのため、文化センターの利用者が図書館に立ち寄り利用も多い。

#### <配置図>

- ← 図書館
- ← 文化C





## 平面計画上の特徴

### <ポイント>

- ・ガラス張りの構造が特徴的で、全体的に開放的な印象を与えるとともに、一階部分については見通しが良く、目が届きやすい。
- ・エントランスホールでは談話や自習に訪れる方も多く、年齢を問わず、来館者が見受けられる。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・図書館フェスティバルでは、館の施設を有効に使い、ことばのワークショップや映画鑑賞なども行っている。
- ・町の行事だけでなく、教育委員会の所管の施設であるため、学校行事や公民館行事、図書館のイベントなどに幅広く多目的に利用されている。

### 【課題】

- ・開館以来、間もなく20年を迎えようとしているが、一部に老朽化が見受けられ、修繕を頻繁に行っている状況。
- ・取替部品に関しても、生産完了品があるため、機器の計画的な更新が必要

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫	その他

### 【相互利用・交流活動】

- ・文化センターのホールでは、ホールの特性を活かして、音楽イベント等が多く開催されており、図書館の来館者がイベントに参加したり、イベントに訪れた来場者が空き時間で図書館を利用したりと相互に交流できている。

### 【民間の力の活動】

#### 「朝一落語」

- ・町内在住で落語をライフワークとしてアマチュアで活動している社会人落語の発表の場として、図書館が役立っている。二か月に一回、開館前の朝9時30分から、20分を利用して、落語会が図書館の畳コーナーで行われている。約2年間継続で開催しており、現在では、町内外の落語ファンが図書館に訪れている。来場者同士の交流もあったり、落語を聴いた後に新聞や本を手にとったりと「ことば」の持つ面白さに触れる機会を提供している。



満員御礼！

# 愛媛県

## ④3 愛媛県生涯学習センター

### 施設HPアドレス

<http://www.i-manabi.jp/>

### <ポイント>

・指定管理者制度を一括で導入し、連携した講座や自主事業を行い、施設利用者数が増加している。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）
  - ・本館（2,413.49㎡）
  - ・図書室／本館内（349.52㎡）
  - ・愛媛人物博物館（1,490.88㎡）
  - ・県民小劇場（1,382.67㎡）他
- 整備時期／平成3年
- 構造／SRC造・地上4階地下1階



入口側から見た風景

### 施設整備の背景

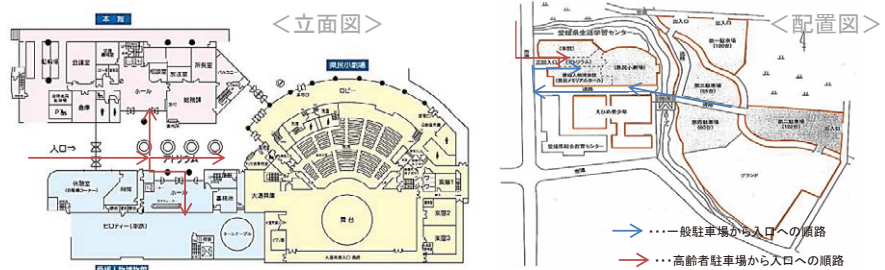
県民の生涯にわたる学習活動を促進及び援助するために必要な学習情報の提供、調査研究、指導者の養成、学習機会の提供等の各種事業の実施及び施設の提供を行うために整備された。

### 管理・運営の体制

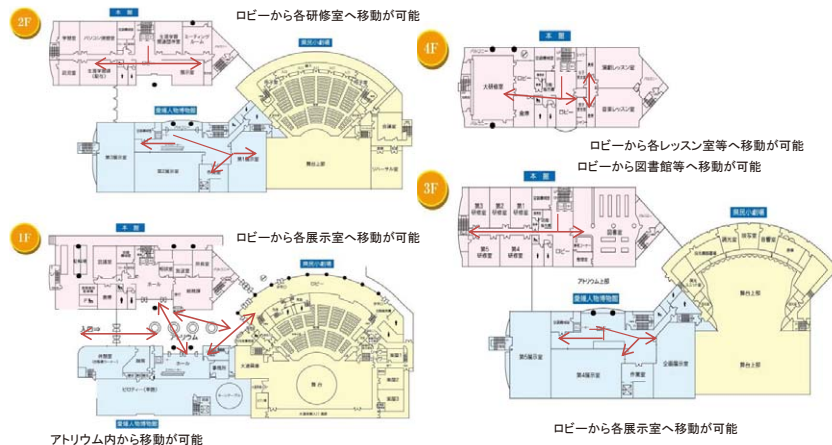
施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
本館	9:00～22:00	教育委員会	管理は教育委員会、運営は指定管理者	指定管理者14、県職員10	—
図書館	9:00～17:30	教育委員会	管理は教育委員会、運営は指定管理者	指定管理者14、県職員10	—
愛媛人物博物館	9:00～17:30	教育委員会	管理は教育委員会、運営は指定管理者	指定管理者14、県職員10	—
県民小劇場	9:00～22:00	教育委員会	管理は教育委員会、運営は指定管理者	指定管理者14、県職員10	—

### 施設の配置・動線

本館と愛媛人物博物館、県民小劇場は、それぞれアトリウムにより移動が可能であり、利用者の目的に沿って、施設内全域を活用できる動線となっている。



### 平面計画上的特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・平成 21 年度から指定管理者制度を導入し、運営を委託している。利用者数は増加しており（21 年度 84,094 人→27 年度 121,577 人）、各種講座や指定管理者自主事業、貸館利用促進活動などを行うことで、本館及び本館内にある図書室（21 年度 6,989 人→27 年度 7,146 人）や愛媛人物博物館を含む施設見学（21 年度 25,283 人→27 年度 28,212 人）などへの利用者数が相互・相関的な増加をもたらしている。これらの効果は、複合化・集約化された施設特有の効果である。

### 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫	その他

### 【生涯学習ふれあいフェスタ2017】

#### （内容）

平成 28 年度に愛媛県生涯学習センターで実施した講座等の成果として、ステージ発表や作品展示を行った。また、たくさんの体験コーナーを設けて、生涯学習に親しむ機会を提供する。

- ・ステージ発表 ・体験コーナー ・ギャラリー展 ・ゆるキャラと遊ぼう（撮影・握手会）
- ・ハンドメイドマーケット「きまぐれ市」・グルメ屋台 ・スタンプラリー（中学生以下対象）
- ・紅白もちプレゼント

#### （同時開催）

- ・三田崇博 世界一周写真展「世界三十六景」
- ・企画展「岩村昇～アジア医療の光となった医師～」

### 【愛媛県青少年ふれあいセンター】

愛媛県青少年ふれあいセンターは、愛媛県生涯学習センターに隣接しており、この両施設の運営は、一括して指定管理者へ委託されている。愛媛県青少年ふれあいセンターでの自主事業の中に、愛媛県生涯学習センター内の愛媛人物博物館を活用した企画があり、更に充実した相互利用や交流活動を行っている。また、愛媛県青少年ふれあいセンターの給食事業の利用対象者を、愛媛県生涯学習センターの施設利用者まで広げ、愛媛県生涯学習センターの利便性の向上を図っている。

### 【俳優によるミュージカルスクール】

現在の指定管理者は、劇場を運営しており、所属している俳優を講師にした愛媛県生涯学習センター主催の各講座や研修等を開催したり、県民小劇場でのミュージカルを開催したりしており、民間のノウハウを活用した運用が行われている。



生涯学習ふれあいフェスタ開催風景



## 地域住民・利用者等の声

- ・27 年度実績 604 件（前年比較 145.8%）

貸館対応についてはおおむね好評であり、さらなるサービススキルの磨き上げを継続する。事務所内の接遇サービスについては、平準化を図るべく朝礼以外に様々な機会をとらえて個人指導などをおこない全体のスキルアップを目指している。

顧客満足向上に向けアンケート（顧客の声）に対する企画提案活動への取り組みを行っている。

（アンケートに記述のあった意見や要望の一部）

- ・大研修室を利用したが、プロジェクター、パソコンの映像をモニターに投影するための延長コードがあればもっと使いやすくなると思う。（利用回数 5～7 回）→延長コード購入し利用開始。
- ・施設内に食事のできる場所があれば便利。→1 階にある休憩室をご利用ください。また休憩室はお食事をご利用のお客様がいらっしゃる場合は、12 時頃から 13 時 30 分頃まで冷暖房をいれていますのでお気軽にお申し付け下さい。また、休憩室内には、自動販売機コーナーを設置し、ソフトドリンクやパン、ホットドッグ、焼きそば、焼きおにぎり、フライドポテト、アイスクリームなど軽食の対応をさせて頂いておりますのでご利用ください。
- ・貸館担当の女性の方に、設定からの細やかなところに至るまで大変お世話になりました。今後ともよろしく願います。12 月に説明会で使用させて頂きます。
- ・先日は大変お世話になりました。親切に対応していただき助かりました。有難うございました。（初めて利用）
- ・大変使い易い施設でした。また利用します。（初めて利用）
- ・職員の方の感じがよい。臨機応変に対応されている。（8 回以上利用者）



# 高知県高知市

## ④④ 新図書館等複合施設「オーテピア」

### 施設HPアドレス

<http://otepia.kochi.jp/>

### <ポイント>

- ・ 県と市の図書館を合築し、サービスを一体的に行い、利用者の利便性を高めるとともに、削減した経費を活用してさらなる図書館の運営の充実を図る。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／
  - ・ オーテピア高知図書館（17,763.57㎡）
  - ・ オーテピア高知 声と点字の図書館（955.31㎡）
  - ・ 高知みらい科学館（2,260.68㎡）
- 複合化前の総床面積／ 8,211.57㎡
- 整備時期／平成 30 年開館
- 構造／鉄骨造，鉄筋コンクリート造，鉄骨鉄筋コンクリート造
- 総工費／約 149 億円（県市計）
- 主な財源／社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）・合併特別債・一般財源



施設全体のイメージ(北側(追手筋)より)

### 施設整備の背景

- ・ 高知県立図書館と高知市立市民図書館本館の狭隘（きょうあい）化や老朽化等の解決策として、施設を合築する案が浮上。
- ・ 中心市街地に設置し，集客力のある図書館や回遊性のある遊歩道を整備することにより，中心市街地の活性化を期待。
- ・ 基本構想検討委員会等において外部有識者を交えて課題等について検証・議論。

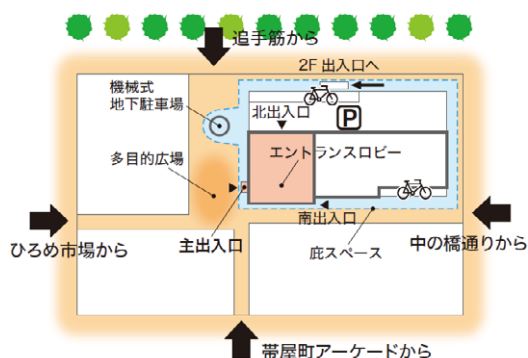
### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営
オーテピア高知図書館	9:00～20:00	高知県 高知市	施設管理＝市 運営＝県市共同
オーテピア高知声と点字の図書館	9:00～20:00	高知市	高知市
高知みらい科学館	9:00～17:00	高知市	高知市

### 施設の配置・動線

- ・ 東西南北どの方向から施設に来ても入口がわかるよう，敷地の中央部分に主出入口を設置。
- ・ 施設内部は，利用者にわかりやすい移動経路とするため，施設の南西に配置した出入口や各階の共用部に面するよう，エレベーターやエスカレーター，トイレなどを設置。

#### <位置図>

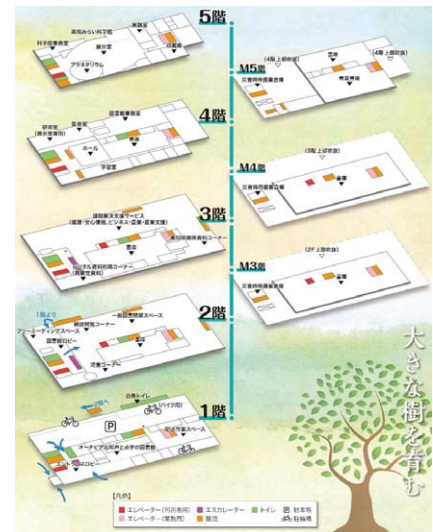


#### <共用部配置図>



## 平面計画上の特徴

- ・ 1階にはオーテピア声と点字の図書館を配置。エントランスロビーと一体感のある空間とし、交流を促している。
- ・ 2階～4階にはオーテピア高知図書館を配置。図書館フロアの中央に書庫を置き、その回りを取り囲むように書架を並べている。入口付近には案内カウンターを配置することで、初めて訪れた方にもわかりやすいゾーニングとしている。
- ・ 5階には高知みらい科学館を配置。展示室を中央に、入口付近には案内コーナーやプラネタリウムを配置することで、目的の場所にたどりつきやすいよう配慮している。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

#### ・ 利用者の利便性

利用者への貸出等の直接サービスを一体的に行うことで、1枚のカードで県市の本が同時に借りられるように。また、職員の効率的な配置や、開館時間の延長等が可能に。

#### ・ 施設整備・維持費

県と市の図書館を合築し、ロビーなどの共用部をまとめることで、経費を削減することができる。削減した経費を活用して蔵書費など図書館の運営の充実を図る。

### 【課題】

#### ・ 固有機能の発揮

県立図書館と市民図書館の機能を見たときに、利用者への貸出サービスなどの重複する機能と、市町村支援機能（県）や分館・分室を含めたネットワーク機能（市）などの固有の機能があり、合築することでこれらの機能が損なわれないよう、役割分担を明確にしたうえで連携して業務を遂行する必要がある。

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
○ 管理運営の工夫	その他

### 【集約化・複合化による相乗効果の発揮】

- ・ 1枚のカードで県市の本が借りられるように。
- ・ 機能の異なる複数の施設が隣接することで、利用者の学習効果を高めることができる。
- ・ 様々な年齢・職業・目的を持った利用者が集う施設になることで、にぎわいを生み出し、まちの活性化につながる。

### 【住民の意見の取り入れ・反映】

- ・ 住民説明会（県内東西中央3カ所にて開催）  
平成23年2月：基本構想に関するフォーラム、平成24年1月：基本設計に関する説明会、平成25年1月：実施設計に関する説明会、平成28年11月：複合施設に関する説明会
- ・ パブリックコメント  
平成23年2～3月：基本構想中間報告に関するパブリックコメント  
平成28年10～11月：オーテピア高知図書館サービス計画に関するパブリックコメント

### 【管理運営の工夫】

- ・ 施設管理を市に一元化することで、効率的な発注、管理が可能に。

### 【コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり】

- ・ 中心市街地の活性化に寄与する図書館として、①観光情報・商店街や日曜市の情報発信、②インターネット利用環境（WiFi）の提供、③歴史的資料の展示、④周辺文化施設との連携、⑤教育・産業支援施設との連携等に取り組むこととしている。



# 佐賀県武雄市

## ④5 武雄市図書館・歴史資料館

### 施設HPアドレス

<http://www.epochal.city.takeo.lg.jp>

### <ポイント>

- ・指定管理者制度を導入により、図書館サービスが充実し、利用者が増加するとともに、経費も節減が図られる。

### 施設概要

- 武雄市図書館・歴史資料館  
(床面積) / 3,807㎡
- 複合化前の総床面積 / 3,630㎡
- 整備時期 / 平成 24 年度 / 館内リニューアル
- 構造 / 鉄筋コンクリート造・地上 2 階
- 総工費 / 4.5 億円
- 主な財源 / 合併特例債



### 施設整備の背景

- ・開館時間の延長
- ・開館日数の延長  
(年中無休)
- ・新たな市民サービスの提供 (カフェ、本が買えるなど)

### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
図書館	9:00 ~ 21:00	こども教育部文化課	加チユア・コヒトエンス・クラブ(株)	26	19
歴史資料館	9:00 ~ 17:00	//	同左	5	4

### 施設の配置・動線

- ・私語が気にならないようにするための BGM の活用
- ・静寂な場所や音が出て良い場所の配置による居心地の良い空間の提供
- ・ライフスタイルを提案する書架の配置
- ・書店やカフェとの区切りをつけずに図書館をあまり利用しない人も気軽に立ち入ることができるように配置

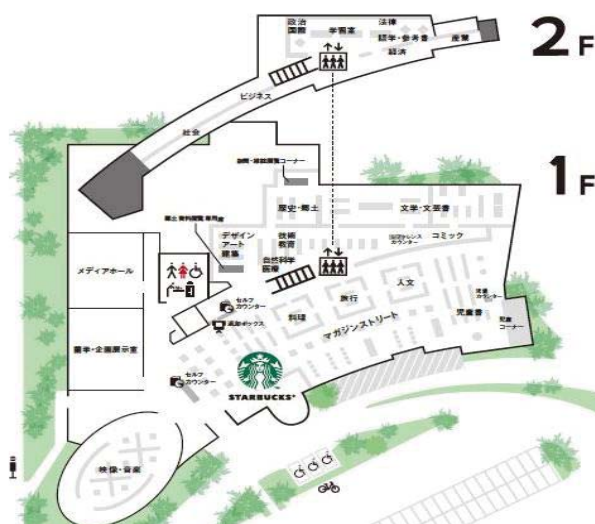
<外観(東側より)>



<館内>



### 平面計画上の特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・開架図書が10万冊から20万冊へ
- ・利用者満足度85%キープ（アンケート結果による）
- ・来館者（利用者）の急増（H25年度予定来館50万人が92万3千人達成）
- ・市外利用者の増加、利用者層の変化（50・60代⇒30・40代大幅増）
- ・指定管理者ならではの講座、教室、イベントの充実及び開催数増
- ・経費年間約1000万円の節減、市の魅力向上・観光客の増加など

### 【課題】

- ・来館者（利用者）が多くなり駐車場不足
- ・来館者（利用者）が多くなり一般座席・学習席の不足
- ・図書館利用の（活用）の多様化に対する施設整備（こども図書館、新学習室など）

## 主な特徴

	集約化・複合化による相乗効果の発揮		コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○	住民の意見の取り入れ・反映	○	民間の力の活用（PFIなど）
○	管理運営の工夫		その他

### 【民間の力の活用（指定管理者）】

- ・活動内容：各年代にわたる司書講座等の開催（小3、小4～小6、中学生、大人、シルバー）
- ・効果：講座修了者は、配架・返却の手伝いに来てくれるなど図書館に愛着を感じている方が多い
- ・課題：ボランティアの方々の育成（高齢化）



## 地域住民・利用者等の声

- ・アンケート結果（平成28年8月実施）  
図書館については86.4%の来館者が満足  
スタッフサービスについては、85.5%の来館者が満足との声あり  
不満な点は、「駐車場が混んでいる」、「座席が少ない」との声あり  
他に、「武雄市の知名度が上がった」、「街のにぎわいが出てきた」等の声も多くあり

# 大分県日田市

## ④6 日田市複合文化施設A O S E

### 施設HPアドレス

[https://www.city.hita.oita.jp/shakai-k/page\\_00020.html](https://www.city.hita.oita.jp/shakai-k/page_00020.html)

### <ポイント>

・複合化により、美術見学と合わせ、家族での訪問などにより、従来固定化していた公民館利用者層が拡大している。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／4,369.95㎡
  - ・中央公民館（3,538.52㎡）
  - ・美術展示及び収蔵庫（370.82㎡）
  - ・日田市立博物館（831.43㎡）
- 複合化前の総床面積／3,375.84㎡
- 整備時期／平成27年
- 構造／鉄筋コンクリート造・地上3階
- 総工費／11億円
- 主な財源／一般財源、起債、社会資本整備総合交付金



日田市複合文化施設A O S E “アオーゼ”正面

### 施設整備の背景

- ・日田市立博物館は昭和35年に建築、老朽化が著しく収納スペースが不足していた。
- ・日田市出身の芸術家の美術作品については、一部中央公民館で保管していたものの、京都市の貸し倉庫に保管を委託していた。
- ・中央公民館は昭和52年に建築されたものの内外装、設備等（ホールの天井脱落防止策）等の更新時期を迎えていた。

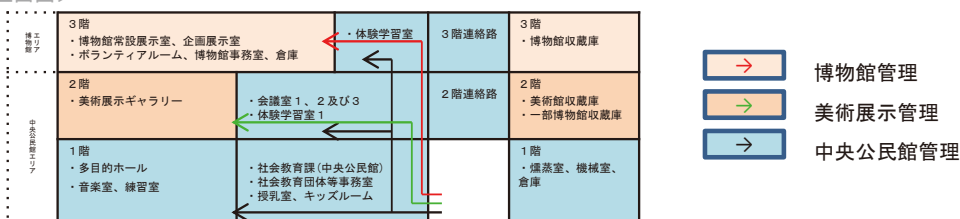
### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
博物館	9:00～17:00	博物館	直営	2	2
美術展示	9:00～17:00	社会教育課	直営	2	3
中央公民館	9:00～17:00	社会教育課	直営	5	5

### 施設の配置・動線

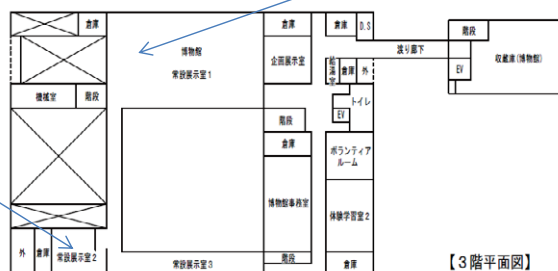
- ・施設入口は1階からのみ、博物館は3階に常設展示室、企画展示室を美術展示は2階に常設展示室を設けている。
- ・博物館の常設展示、企画展示室、美術展示の常設展示すべて無料で開放しているため、施設を自由に見学できる。

#### <立面図>



### 平面計画上の特徴

・水辺の生き物  
筑後川に生息している生き物を  
水槽の中で飼っている。

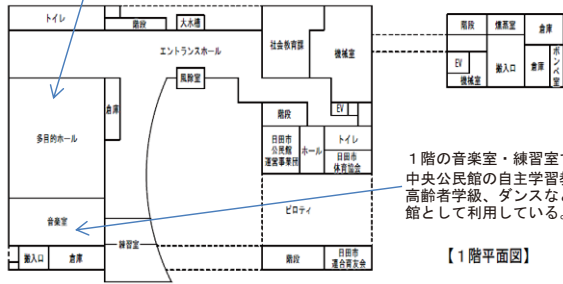


【3階平面図】

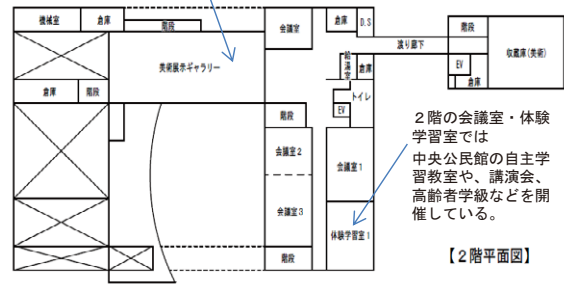
日田の大地の成り立ち、日田の自然、暮らし、  
星空まで日田を幅広く学ぶことができる。



多目的ホールは博物館、美術展示、中央公民館の3つの用途で特別展を開催することで、多様な方の来場者がある。



美術展示ギャラリーでは所蔵美術展の展示のほか、小・中学校の絵画展、書写展等を開催している。



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・施設維持費、人件費等の経費削減等については、開館後1年経過しておらず効果が見えていない。
- ・利用者数については、開館以降利用者が多い状態が続いている。
- ・旧中央公民館では、利用者が固定化しており、施設の老朽化と併せて暗いイメージがあったが、博物館ができたことや美術展示ギャラリーで絵画展などを開催することから、祖父母が孫と一緒に施設を訪れたり、施設の利用者層が拡大した。
- ・エントランスにテーブル等を配置、Wi-Fiを開放したことから、週末は中・高校生が勉強等で施設を利用するようになった。

### 【課題】

- ・施設を複合化したことで施設の管理が複雑になった。(夜間警備、空調・電気の入切、緊急時の連絡体制等)
- ・多目的ホールで特別展を開催する際のスケジュール調整が必要になった。
- ・施設が複雑になったことで、来場者の動線の確保(案内板の設置)が難しく、迷う人が出てきた。

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用 (PFI など)
管理運営の工夫	その他

### 【相互利用・交流活動】

- ・美術展示ギャラリーと博物館が同じ施設にあることから、小学校の社会科見学で、自然史と美術鑑賞など兼ねて来場することが増えた。
- ・効果・課題  
社会科見学などで、一度来場している小学生が週末を利用し、保護者と再来場するなどの効果がある。  
旧中央公民館では利用者が固定化していたが、施設が新しくなることで若年層の利用が増えつつある。



高校生とのお土産開発講座

### 【住民からの意見反映】

- ・目的・内容
  - ・設計の段階で利用者団体からの意見を集約した。  
音楽室の床や、天井、練習室の部屋数などについて参考にした。
  - ・整備計画の中でパブリックコメントを実施した。  
日田市の先哲(大蔵永常)の胸像は残しておいてほしい等
- ・効果(住民の満足度など)
  - ・利用者は増えているが、アンケート等実施しておらずに把握していない状態。

## 地域住民・利用者等の声

- ・以前の施設より明るくなり、利用しやすくなった。
- ・エントランスができて、開放的な感じになり打合せなどで利用できるようになった。
- ・特別展などの場所が分かりづらい。

# 沖縄県

## ④7 沖縄県立博物館・美術館

### 施設HPアドレス

<http://www.museums.pref.okinawa.jp/index.jsp>

### <ポイント>

- ・利用者は施設間を自由に行き来でき、共通テーマによる展示会の開催等、共同事業の実施によりサービスの向上を図り、利用者数が増加。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／23,721㎡
  - ・博物館エリア（10,478㎡）
  - ・美術館エリア（7,537㎡）
  - ・共有部（5,708㎡）
- 整備時期／平成19年
- 構造／鉄筋コンクリート造、一部鉄骨構造地上4階、地下1階、塔屋1階
- 総工費／215億円
- 主な財源／地域総合整備事業債



沖縄のグスク（城）をイメージした外観

### 施設整備の背景

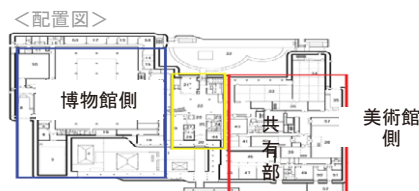
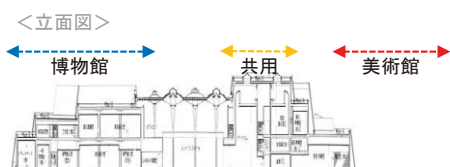
- ・旧県立博物館の建物が老朽化・狭隘化したため新館が設置されることとなった。
- ・これまで県立の美術館施設がなかったため、美術館を設置することとなった。
- ・当初は独立した施設として計画されていたが、ひとつの館として設置されることとなった。

### 管理・運営の体制

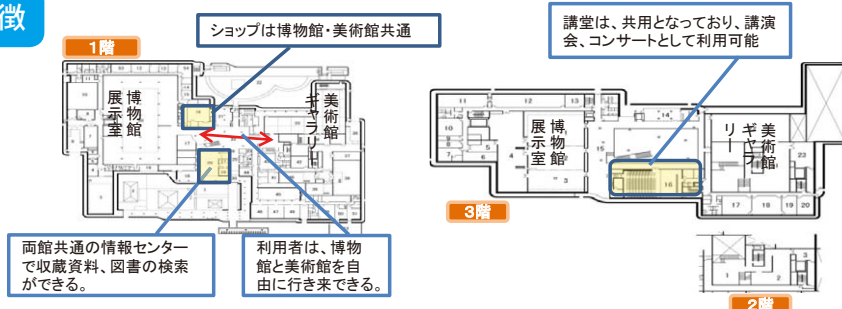
施設	利用時間	所管	管理・運営
博物館	9:00～18:00 金土は20:00	文化観光スポーツ部	指定管理者制度を導入 調査研究、展示企画→県施設管理等→指定管理者
美術館	9:00～18:00 金土は20:00	文化観光スポーツ部	指定管理者制度を導入 調査研究、展示企画→県施設管理等→指定管理者

### 施設の配置・動線

- ・建物の中央に共有部分があり、同一建物に博物館エリアと美術館エリアが分かれて配置されている。
- ・博物館の常設展示室は、二重の回廊を持った複合構造で、中央部の総合展示と周辺の各部門展示がフリーアクセスできるようになっている。
- ・美術館はコレクション展示室を2フロア・3室に分けており、コレクション作品の小規模な展示、部分的な展示替えが実施しやすい構造になっている。



### 平面計画上の特徴



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・来館者が自然、生物、植物、工芸等の博物館展示と絵画や彫刻等の美術館展示を一度に楽しむことができる。
- ・共通テーマによる展示会の開催等、両館共同事業の実施による県民サービスの向上。
- ・博物館単体時の利用者数が、4～5万人であったのに対し、複合化後は、利用者数が40～50万人となった。

### 【課題】

- ・博物館と美術館の危機管理について、持続した連携体制の構築が必要。
- ・館内ネットワーク・システム構築が複雑となっている。
- ・IPM（総合的病害虫管理）実施に対する両館の方針の相違についての解決が必要。

## 主な特徴

○	集約化・複合化による相乗効果の発揮		コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
	住民の意見の取り入れ・反映	○	民間の力の活用（PFI など）
○	管理運営の工夫		その他

### 【相互利用・交流活動】

- ・講堂や、情報センターは共通となっており、来館者が両館の情報を収集できる。
- ・文化芸術が一度に楽しめる施設となっており、幅広い年齢層を対象にした展示、イベントを通年で実施している。
- ・両館共通の年間パスポートを発行し、リピーター増加に努めている。

### 【管理運営の工夫】

- ・博物館・美術館でそれぞれ職員がいることから、情報の共有を行うため、定期的に館内会議を開催している。

### 【民間の力の活動】 ※指定管理者制度を導入

#### メリット

- ・効率的な施設管理及び経費の削減が図られ、サービスの向上が期待できる。

#### デメリット

- ・公的サービス（無料の講座、教育普及活動等）について消極的になる可能性がある。
- ・連絡調整、意思決定について追加的な時間と労力が必要となる。



ふれて楽しめる体験キットの充実

## 地域住民・利用者等の声

- ・開放的な建物のつくりとなっており、居心地がいい。
- ・博物館と美術館が両方楽しめる施設になっていて、効率が良い。
- ・観光で来たが、沖縄の文化と芸術を見ることができて良かった。
- ・クーラーも効いていて、無料で楽しめるコーナーが充実しているので、子供をどこに遊びに連れて行くか迷った時にちょうど良い。



# 宮城県仙台市

## ④8 せんだいメディアテーク

### 施設HPアドレス

<https://www.smt.jp/>

### <ポイント>

- ・指定管理者と市直営部分が混在しており、情報交換・連絡の場を設け、情報共有に努めるとともに、共同事業を実施し、一体的な利用促進を図る。
- ・文化イベント、学校などとの連携事業や市民グループの地域文化活動との協働事業を通じ、多様なコミュニティの活動拠点として活用されている。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／21,682.15㎡  
うち仙台市民図書館／3,750.00㎡（地下2～1階、2～3階）
- 整備時期／平成13年
- 構造／鉄骨造一部鉄筋コンクリート造地上7階地下2階
- 総工費／約130億円
- 主な財源／自己財源、市債



せんだいメディアテーク外観

### 施設整備の背景

- 平成元年に当時の仙台市民ギャラリーの老朽化・狭隘化を受け、宮城県芸術協会より大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出があった。
- 平成4年に定禅寺通に図書館と併設した新市民ギャラリーを建設する方針が定められ、新市民ギャラリー建設検討委員会の協議や市民各層からの意見聴取等を経て、平成6年にギャラリー、図書館、映像メディアセンター、そして視聴覚に障害を持つ方々への情報提供という4つの機能を併せ持つ芸術文化施設として設計協議を行うことが決定された。
- 設計協議の結果、平成7年3月に伊東豊雄建築設計事務所が最優秀者に決定し、「わいわいトーク」などの市民の意見を聞く機会を設けながら、同年6月より基本設計、平成8年1月より実施設計に着手した。平成9年12月から平成12年8月までの工事期間を経て、平成13年1月26日に開館した。
- 平成23年3月の東日本大震災では、被害を受けて休館したが、平成23年5月3日より一部再開し、平成24年1月27日に全館復旧した。

### 年表

H 6年 9月	せんだいメディアテーク設計競技開始
H 7年 3月	伊東豊雄建築設計事務所が最優秀者に決定
H 7年 8月	第1回メディアテーク・プロジェクト検討委員会
H 9年 12月	建設工事着工
H12年 3月	せんだいメディアテーク条例制定
H12年 8月	建築竣工・施設引き渡し
H12年 9月	仙台市民ギャラリー閉館 仙台市視聴覚教材センター閉館 仙台市民図書館閉館
H12年 12月	仙台市民図書館移転
H13年 1月	せんだいメディアテーク・仙台市民図書館開館

### 管理・運営の体制

フロア	主な機能	所管	管理・運営
7階	スタジオ	教育委員会	指定管理 ※（公財）仙台市民文化事業団 【H29.4.1～H34.3.31】
6階	ギャラリー 4200		
5階	ギャラリー 3300		
4階	ライブラリー (仙台市民図書館)		直営
3階	ライブラリー (仙台市民図書館)		
2階	ライブラリー (映像音響資料閲覧、児童書等)		直営 + 指定管理※
1階	プラザ (オープンスクエア)		指定管理※
地下1階	駐車場		

### 建築の特徴

#### 【構造システム】

建物全体は、13本の鉄骨独立シャフトと7枚の鉄骨フラットスラブで構成し、各階異なる平面計画を採用。

#### 【空調システム】

南側の2重ガラス面と上部の開閉機構で空調コストを軽減。

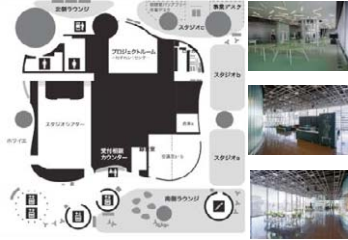
#### 【チューブを通る自然光・設備配管・垂直動線】

屋上の採光装置が太陽光を反射し、チューブを通して建築内部に取り入れる。チューブは、ネットワークや空調などの設備配管・配線、エレベーター・階段など垂直動線を通すパイプとして利用。

## 平面計画上的特徴

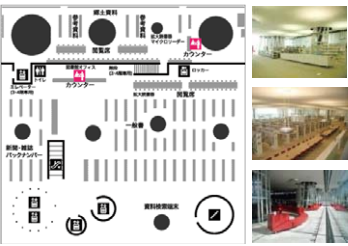
### 【7階】スタジオ

■施設貸出・相談、映画上映、情報の編集や創造活動の場



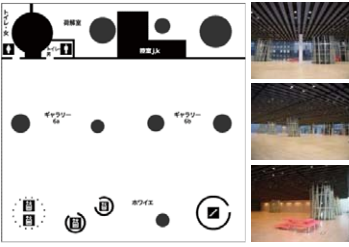
### 【4・3階】ライブラリー

■多くの市民が利用する仙台市民図書館



### 【6階】ギャラリー4200

■自由な可動壁の天井高4.2mの展示空間



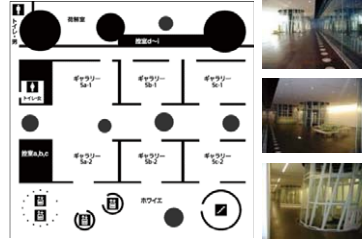
### 【2階】ライブラリー

■映像や音響資料の閲覧、児童書、新着新聞雑誌閲覧



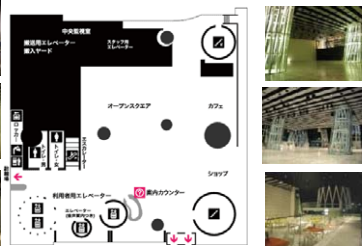
### 【5階】ギャラリー

■固定壁面を中心とする天井高3.3mの展示空間



### 【1階】プラザ（オープンスクエア）

■定禅寺通に開かれた屋内型公開空地



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・施設の集約・複合化により施設維持管理費等経費の削減が可能となった。
- ・それまで個別施設を目的としていた来館者が目的外の施設への立ち寄りが可能となり、利用者の増加につながっている。
- ・相互に連携して事業展開が可能となり、共同企画によるイベント等を開催することができる。

### 【課題】

- ・指定管理者と市直営の部分が混在しているため対応の一元化が難しく、管理区分も明確にしにくい。
- ・開館時間や休館日が異なるため、修繕等の対応調整が必要となり、時間を要することがある。また、市民に理解されにくい。(休みが分かりにくいと意見が多い)

## 主な特徴

○	集約化・複合化による相乗効果の発揮	○	コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
	住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用（PFI など）
○	管理運営の工夫	○	その他

### 【管理運営の工夫】

- ・世界的に著名な建築家による建築物で、定禅寺通りと一体となり仙台の都市景観を象徴している。デザインの特徴をいかした利用方法を提案するなど、施設利用の促進を図っている。
- ・壁のないバリアフリーを目指した建物の特徴をいかすべく、その運営に関する基本理念のもと管理及び事業を行っている。
- ・市民図書館と情報交換・連絡の場を設け、情報の共有に努めている。また、共同事業を実施し、一体的な利用促進を図っている。

### 【コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり】

- ・定禅寺通りに面した立地や建物の機能を活かし、界隈で行われる文化イベントとの連携事業を実施するなど、にぎわいの創出を図っている。

### 【その他】

- ・市内のミュージアムや文化施設、学校などとの連携事業や市民グループの地域文化活動との協働事業を通じ、多様なコミュニティの活動拠点として活用されている。

## 地域住民・利用者等の声

- ・メディアテークが建設された事により、以前に増して人の流れが多くなり、賑わいが増している。
- ・明るく開放的な施設であり、常に多くの利用者で賑わっている。
- ・有料施設の利用のみならず、オープンなスペースが数多くあり、施設利用に関わらずカフェやショップなど利用することができ、多くの人で賑わっている。
- ・常にきれいに清掃等がなされ、きれいに管理がされていると好評を得ている。
- ・スタジオを拠点として活動する協働団体は、施設や多様な機材を活用することができ、また事業を介した協働を通じて活動を広げることができると好評を得ている。

# 神奈川県相模原市

## ④9 相模原市立相武台公民館・南区役所相武台まちづくりセンター

### <ポイント>

・旧小学校を再利用して、公民館、まちづくりセンター等を含めた施設一帯を「地域の拠点」と位置付け、整備を実施。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／2,210.42㎡
  - ・相武台まちづくりセンター（750.9㎡内相武台高齢者支援センター 48.73㎡）
  - ・相武台公民館（1459.52㎡）
- 複合化前の総床面積／1360.30㎡
- 整備時期／平成 27・28 年度
- 構造／鉄筋コンクリート造・地上3階一部2階
- 総工費／6.4 億円
- 主な財源／国庫補助金（再編交付金）・起債・一般財源



正面入口

### 施設整備の背景

- ・大規模改修の整備時期を向かえていた。
- ・開館時に比べ利用者が増え部屋数及び面積に支障が生じていた。
- ・近隣に閉校となった小学校があり、地域から学校への移転要望が提出された。

### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
まちづくりセンター	8:30～17:00	市長部局	市長部局	8	8
公民館	9:00～22:00	教育委員会	教育委員会	5	5
支援センター	8:30～17:15	市長部局	市から委託	7	7

### 施設の配置・動線、平面計画上の特徴

- ・旧小学校を再利用した整備
- ・1階に事務室、住民票等の交付窓口を配置し、2階3階に公民館諸室を配置した。

<配置図>



<立面図>

西立面図



東立面図



南立面図



北立面図



赤線枠内公民館

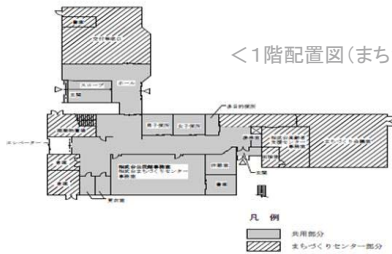
整備範囲



## 平面計画上の特徴

- ・教室単位の区画を基本に整備した。
- ・廊下と教室等との小さい段差の解消。(整備にあたっては、バリアフリーアドバイザーによる施設確認・意見をいただき改修計画に反映させた。)
- ・他団体が運営している相模原看護専門学校との行き来が出来ないように、扉の仕様を緊急時運動の扉とした。

1階平面図

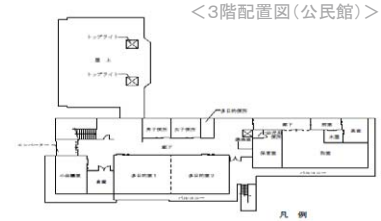


<1階配置図(まちづくりセンター・共用)>



<2階配置図(公民館)>

3階平面図



<3階配置図(公民館)>

## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・施設が整備され職員が常駐する施設が配置されたことで、近隣住民にとっては安心に繋がっていると思われる。
- ・地域住民が主体となって、移転したまちづくりセンター及び公民館と現設されていた体育館、グラウンド、こどもセンターを含めた施設一帯を「地域の拠点」と位置付け、将来にわたり親しみを持ち続けることのできる愛称(そあら)を公募により制定した。また、地域の歌も作詞・作曲するなど、移転を契機に地域コミュニティの熟成に寄与したと考えている。

### 【効果】

- ・所在が地域の中心部分から北側に移動したため、利用者数に変化があるか注視している。
- ・面積が拡大されたことにより、施設維持費が増大されると思われるので、経費の削減のための施設管理・運営に工夫が必要。
- ・学校施設は開口部が多いため、断熱性能をあげにくい。

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用(PFIなど)
管理運営の工夫	その他

### 【地域の拠点施設としての交流】

- ・ふるさとまつりや、福祉のつどい、公民館まつり等の地域活動の拠点として利用されている。
- ・公民館利用者が、以前に比べて増加している。



相武台ふるさと祭りの様子

### 【施設整備にあたって地域意見反映】

- ・地域の各種団体から選出された委員による検討委員会から、利用の形態、目的、内容など幅広い意見をいただき、可能な限り実施設計に反映させた。
- ・効果については、整備前と整備後の利用者数を比較すると平成28年4月～8月の1ヶ月平均3491人だったが、整備後の10月～12月の1ヶ月平均5221人と1.5倍の利用者増となった。

### 【複合化による効果】

- ・当該地区は高齢化率の高い地区でもあり、高齢者支援センターを複合したことにより、ワンストップの相談業務が可能となった。複合により、移転後の10月の相談件数は91件と、移転前の9月の件数41件から倍増された。今後は高齢者本人や高齢者と同居している家族を対象とした講習会などを公民館事業として開催するなどの事業展開が見込まれる。

## 地域住民・利用者等の声

- ・施設がきれいになり、設備も整っており、部屋数が増えてとても利用しやすくなった。
- ・周りにあるグラウンドや体育館を活用した事業がやりやすくなった。(準備・片付けも含めて)

# 静岡県浜松市

## ⑤0 浜松市天文台・浜松市五島協働センター

### 施設HPアドレス

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/s-kumin/hao/>

### <ポイント>

- ・施設がフロアで分かれており、来館者にとって配置や動線、利用方法が明確で混乱がない。
- ・利用者層が異なるが、同じ場所に来館するため、お互いの事業や館の役割を知る機会となる。

### 施設概要

- 複合施設（床面積）／2,411㎡
  - ・天文台（385㎡）
  - ・浜松市五島協働センター（1,048㎡）
  - ・協働センター体育館（978㎡）
- 複合化前の総床面積／\*開設時から複合
- 整備時期／昭和57年
- 構造／RC造・地上3階



五島協働センター(1F,2F)と浜松市天文台(3F,RF)

### 施設整備の背景

- ・市民団体やアマチュア天文家から市立天文台の設立要望が出された。
- ・交通の便や観測場所としての条件をふまえ、新設公民館の3階と屋上を天文台とすることに決定した。

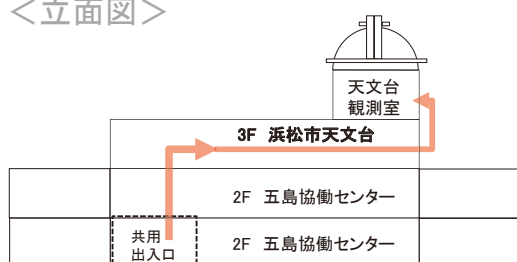
### 管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数
天文台	火・水・木 9:00～17:30 金・土・日 13:00～21:00 (月曜日・祝日は休台) (年末年始の休台 12/29～1/3)	浜松市	浜松市	3
協働センター	窓口受付時間 平日 8:30～17:15 貸出時間 火～日曜日 9:00～21:30 月曜日 9:00～17:00	浜松市	浜松市	6

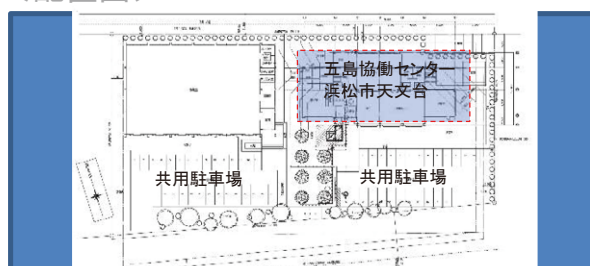
### 施設の配置・動線

- ・駐車場や建物出入口は共用。
- ・天文台は3階と屋上階のため、同じ建物でありながら、1・2階の協働センター利用者と明確に区別されている。

#### <立面図>



#### <配置図>

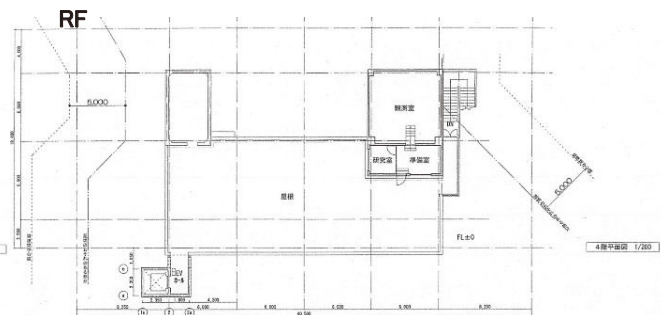
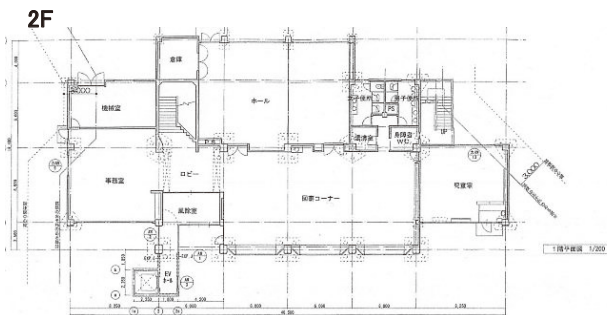
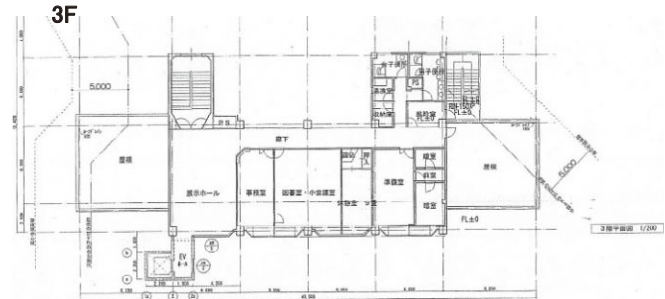
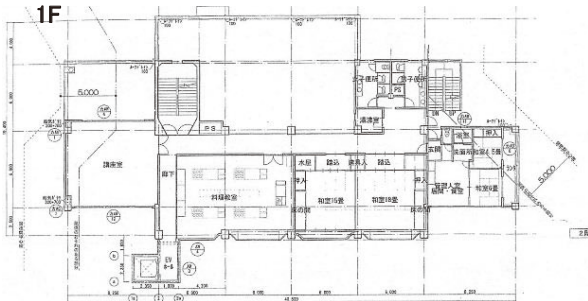


## 平面計画上の特徴

- ・協働センターは日中、天文台は夜間の利用者が多く、全体的に利用が集中して混雑することが少ない。
- ・天文台が主催する講座を協働センターの部屋で行うことができ、屋上階や観測室への移動も建物内である。

協働センター

天文台



## 複合化・集約化による効果と課題

### 【効果】

- ・それぞれ単独よりも維持管理がしやすく、経費の削減となる。
- ・フロアによって明確に分かれているため、利用者に混乱がない。
- ・大きなイベントを共同で行うことで、集客を図ることができる。

### 【課題】

- ・開館日や開館時刻が限られ、自由度が低い。
- ・職員が相互に交流して業務を行うことはまれで、人材が不足しがち。

## 主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用 (PFI など)
○ 管理運営の工夫	その他

### 【相互利用・交流活動】

- ・異なる施設が1つの建物に同居しているため管理人が1名で済み、人件費が抑えられる。特に夜間の天文台事業では、天文台職員は来客の対応に追われるため、入館者の確認を管理人がしてくれることで安心できる。
- ・生涯学習施設としての協働センターは地域住民の利用が多く、公開天文台の利用者は全市、市外に広がる。利用者は異なるが、フロア別に機能が分かれており、種類や年齢層、利用時間や場所が違って来館者にとって配置や動線、利用方法が明確である。
- ・違う客層が同じ場所に来館するため、地域住民は天文台を、天文台利用者は協働センターを知る機会となる。(事業や館の役割など)
- ・大きなイベントを共同で行うことで、集客を図ることができる。
- ・天文台は多くの来客者を収容できる部屋がないが、天文台事業で協働センターの施設を有効活用することができる。同じ建物内なので、天文講座を行ってから屋上での天体観望といった移動がしやすい。
- ・地域の幼稚園、小学校等の児童が協働センターだけでなく天文台の見学もすることができ、天文台の活動を周知する機会となる。また、近くの幼稚園との交流活動を行っており、協働センターと協力して行っている。